

令和2年度（2020年度）に使用する中学校用教科用図書

採 択 参 考 資 料

令和元年6月

北海道教育委員会

目 次

は し が き

国 語	国語1～国語26
書 写	書写1～書写16
社会（地理的分野）	地理1～地理31
社会（歴史的分野）	歴史1～歴史76
社会（公民的分野）	公民1～公民37
地 図	地図1～地図16
数 学	数学1～数学32
理 科	理科1～理科25
音楽（一般）	音楽（一般）1～音楽（一般）14
音楽（器楽合奏）	音楽（器楽）1～音楽（器楽）9
美 術	美術1～美術13
保健体育	保体1～保体13
技術・家庭（技術分野）	技術1～技術13
技術・家庭（家庭分野）	家庭1～家庭14
英 語	英語1～英語24

は し が き

1 作成の趣旨

本資料は、北海道教育委員会が、「義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律（昭和38年法律182号）」第10条の規定により、北海道内の市町村教育委員会並びに国立及び私立の義務教育諸学校の校長が、令和2年度に使用する中学校用教科用図書の採択を行うに当たっての参考に供するため作成したものである。

また、この資料は、「令和元年度北海道教科用図書選定審議会」の答申に基づき、「平成28年度から使用する中学校用教科用図書採択参考資料（平成27年6月）」の内容等を活用して作成したものである。

2 調査の対象

「中学校用教科書目録（平成32年度使用）」に記載された教科書から「特別の教科 道徳」を除く、15種目、66種で、種目ごとの内訳は次の表のとおりである。

種 目	種類数	点 数	種 目	種類数	点 数
国 語	5	1 5	音 楽 （ 一 般 ）	2	6
書 写	5	5	音 楽 （ 器 楽 ）	2	2
社会（地理的分野）	4	4	美 術	3	7
社会（歴史的分野）	8	8	保 健 体 育	4	4
社会（公民的分野）	7	7	技術・家庭（技術分野）	3	3
地 図	2	2	技術・家庭（家庭分野）	3	3
数 学	7	2 4	英 語	6	2 1
理 科	5	1 8	合 計	6 6	1 2 9

3 資料の内容

本資料は、各教科書の特色や違いが明らかになるよう学習指導要領の目標や内容等に基づく調査研究を行い、次のような内容となっている。様式2～4については、発行者の番号順に整理した。

① 様式1

学習指導要領に示されている各教科の目標及び学年・領域等の目標や現行の学習指導要領が改訂された際に示された各教科の改善の基本方針等を記載した。

② 様式2

各教科書の特徴について、別を示す「調査研究の観点」に基づいて文章で記述した。

③ 様式3

学習指導要領に示されている各教科の目標等を踏まえ、各教科、領域等の特性に応じて、客観的な数値データを示す調査項目とその主な理由を記述した。

④ 様式4

様式3で示した項目を数値で記載した。

⑤ 別記

様式4で示した数値のうち、その根拠として示すことのできる内容を記載した。

4 資料活用の留意事項

- 様式2と様式4は、補完の関係にある。
- 様式3における調査項目は、数値データとして示すことが可能なもののうち、必要と思われるものを記述した。
- 様式4については、各採択地区において学習指導要領の目標や内容等を踏まえ、それぞれの地域の実態などに応じて、種目ごとに1種を決定する際の参考とするため、客観的な数値によるデータ化を図ることにより各教科書の特色や違いを明らかにしたものであり、数値の多寡が教科書の優劣を示すものではない。
- 本資料のほか、「教科書編修趣意書」及び「教科書見本」を参考にし、十分に調査研究をされたい。

【調査研究の観点（様式2）】

調査研究の観点

1 「取扱内容」について

- (1) 学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等に基づいて取り上げられているか。
- (2) 知識・技能の習得、活用、探究に対応できるよう、既に学習した内容の系統的な反復学習や練習問題などによる繰り返し学習に関する内容、観察・実験やレポートの作成に関する内容、他教科との関連する内容、補充的な学習や発展的な学習に関する内容などがどのように取り扱われているか。

2 「内容の構成・排列、分量等」について

- (1) 内容の構成・排列が、地域の実態や学年の発達の段階等に応じて、系統的・発展的に組織されているか。
- (2) 内容の分量が、各分野や各領域等ごと、全体としてどのようになっているか。

3 「使用上の配慮等」について

- (1) 生徒の学習意欲を高める工夫がされているか。
- (2) 自ら課題解決に取り組み、主体的に学習に取り組めるよう工夫がされているか。
- (3) 目次、索引、注、諸表など、使用上の便宜は図られているか。